



# 牡丹だより

第4号

【ホームページ】 <http://www.botanyama-k.city-niigata.ed.jp>



～しりくされトマト  
なんです～



## 牡丹山の宝 ～地域の皆様～

牡丹山幼稚園は、「地域に開かれた幼稚園」として、地域の方々や地域の施設の皆様との継続的なつながりを大切にしてきました。幼稚園教育要領にも「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として、自立心や協同性、社会生活との関わり、自然との関わり、生命尊重等、地域との関わりによってより深く育まれるものが示されています。今さかんにうたわれている「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域との関わりは欠かせないものです。

6月11日（土）のおうちの人と遊ぶ日には、地域の渡辺さんとそのお友達の平山さんを講師にお招きしました。渡辺さんからはゴム鉄砲の作り方を、平山さんからは電動糸ノコを使って、動物の型抜きパズルの作り方を手ほどきいただきました。



電動糸ノコは、小・中学校のときに使ったことがあるというおうちの方もいれば、初めて体験する方もいらっしゃいました。我が子の手におうちの方の手を添えながら、あたかも子どもが自分で作っている感覚を味わえるようにしているおうちの方の姿が印象的でした。

渡辺さんには、日頃からお世話になっていて、子どもたちが畑で水やりをしているときに声をかけてくださいます。珍しい木の実が手に入ったといっちは幼稚園に届けてくださいます。この日も、鉄砲を作るための木片と木製の動物形を準備してくださいました。また様々な樹木の木片や鉋屑も見せてくださり、木目や色、香り等々、普段は目にする事ができないものに出合わせてもらえました。いつも「子どもたちのために」と考えてくださっている渡辺さんと顔の見えるおつきあいができることは本当にありがたいことです。

6月14日（火）には、地域の今井農園さんでイチゴ狩りをさせていただきました。大きな葉っぱの下に隠れている真っ赤なイチゴを見つけては、自分のカップに入れていく子どもたちでした。最後に、今井さんにイチゴについての質問をしました。「おいしいイチゴはどうやってできるんですか？」 今井さん「それはお日様を浴びたりお水をやったりして大事に育てているからだよ。」 この答えには、子どもたちも納得です。幼稚園でもイチゴのお世話をしてきた子どもたちも同じ思いだったに違いありません。

子どもたちは、地域の方々に支えられ、交流しながら、自分たちの住んでいる地域を知り、親しみや愛着をもつようになっていきます。子ども、保護者、地域、教職員がともに育ち合う園運営を進めていきます。



## 創立記念日(6/1)

創立 52 年目を迎えました。子どもたちが幼稚園にやってあげたいことを考えてお祝いしました。52本のろうそくを8人で作りました。ちょうど収穫したサクランボの木を壁面に飾り付けしました。そして、大好きな幼稚園で遊んでいる絵も飾りました。どの絵も友達がたくさん描かれていました。力作ぞろいでした！



こっちは  
どうかな？



キュウリの葉っぱの  
裏にアブラムシを  
発見！



6月の  
子どもたち

## 野菜を守ろう！

毎朝、子どもたちが水やりをして、お世話をしている野菜の葉にアブラムシがびっしりついていました。アブラムシをとる方法は？図鑑で調べたり用務員さんに聞いたりしながら、子どもたちが考えたのは「土の上にアルミ箔をしくこと」でした。これがなかなかの効果があってアブラムシは減りました。ところが、今度は「オクラ」が大きくなりません。次々におこる困難に、子どもたちの試行錯誤は続きます……。



梅を収穫。梅ジュースを作ろう！



アイスアリーナでスケート体験！



プール清掃第1弾。保護者の皆様  
が下準備をしてくださいました。



おうちの方と一緒に、チューリップ  
の球根掘り。



すこやかタイム(健康)。暑いときに  
飲む飲み物は何がいいのかな？



プール清掃第2弾。自分たちが入る  
プールは自分たちでお掃除します。



すこやかタイム(食育)。野菜は畑の  
どこになっているのでしょうか？



プール開き。大切な命を守る約束  
をしました。